

## <平成 26 年度の主な事業>

第 6 次小樽市総合計画の「まちづくり 5 つのテーマ」等に基づき本年度実施した主な事業は次のとおりです。

【◎＝新規 ☆＝拡大 (括弧内の金額は予算現額)】

### A【まちづくり 5 つのテーマ】

#### 1. 心豊かに学び、地域文化をはぐくむまち（生涯学習）

- ① 「樽っ子学校サポート」関係経費 119千円(162千円)  
・児童生徒の学習意欲の向上と基礎学力の定着を目指すため、小樽商科大学に在籍する学生を小中学校へ派遣し学習支援を実施
- ② 音読推進経費 265千円(272千円)  
・全ての小中学校で取り組んでいる家庭学習での「音読」活動の充実を図り、児童生徒の学力向上を推進  
・「音読カード」の配布、「音読カップ（発表会）」の開催
- ◎③ 「小樽イングリッシュキャンプ」関係経費 111千円(151千円)  
・市内小中学生の国際感覚を育むため、ALT（外国語指導助手）や小樽商科大学の留学生との活動や宿泊生活、外国人観光客への観光案内など「英語漬け」の時間を過ごすプログラムを実施  
・宿泊場所：おたる自然の村（1泊2日）  
・参加対象：小学校5・6年生(20名)、中学校(20名)
- ☆④ 特別支援教育支援員経費 32,794千円(33,781千円)  
小学校27,604千円(28,148千円)、中学校5,190千円(5,633千円)  
・LD(学習障害)やADHD(注意欠陥・多動性障害)、高機能自閉症などのほか、介護の必要な障害のある児童生徒を支援するため、必要に応じて特別支援教育支援員(介護員含む)を配置

・平成26年度 小学校25名、中学校5名

- ⑤ 校舎等改築事業費 905,291千円(953,284千円)  
・手宮地区統合小学校 871,901千円(906,470千円)  
H25～H26 校舎建設、H27 屋内運動場建設、H28 開校、グラウンド整備  
・山手地区統合小学校 33,390千円(46,814千円)  
H25 基本設計、H26 実施設計、H27 敷地造成工事  
H28～H29 校舎・屋内運動場建設、H29 グラウンド整備、H30 開校
- ◎⑥ 校舎等耐震補強等事業費 19,509千円(31,310千円)  
小学校12,570千円(19,200千円)、中学校6,939千円(12,110千円)  
・校舎及び屋内運動場の耐震化工事に向けた実施設計  
(奥沢小、潮見台中、銭函中)
- ◎⑦ 非構造部材耐震化事業費 18,775千円(20,420千円)  
小学校11,167千円(12,500千円)、中学校7,608(7,920千円)  
・学校施設の非構造部材について、落下・転倒防止対策を実施  
平成26年度 屋内運動場の天井照明の点検及び補強工事、バスケットゴールの点検、教室等内部備品の固定
- ⑧ 義務教育活動経費(学校図書館整備費) 10,367千円(10,459千円)  
小学校5,087千円(5,163千円)、中学校5,280(5,296千円)  
・図書整備のほか、学校図書館活動の活性化と児童生徒の読書習慣の定着及び学力の向上を図るため、平成25年度から学校図書館司書を2名配置。平成26年度は、配置した司書の複数校担当化や、図書のデータベース化を実施
- ◎⑨ デジタル教材整備費 1,783千円(1,812千円)  
・児童が授業内容を理解する上で教育効果が高い実物投影機(教科書や学習プリ

ントなどをそのまま拡大して映し出すことができる機器)とプロジェクターを、各小学校で既存のものを含め最低1台(10クラス以上は2台)を配備

◎⑩ スクール・ライブラリー便事業費 1,000千円(1,000千円)

- ・平成24年度から花園小学校と松ヶ枝中学校で学校図書館を支援するためのモデル事業として実施している「スクール・ライブラリー便」事業(学校のリクエストに応じて図書館図書100冊を2か月間貸出し)を全小中学校で実施するため、計画的に専用図書を購入

◎⑪ 伊藤整文学賞記念事業費補助金 500千円(1,000千円)

- ・伊藤整文学賞(平成2年創設)が平成26年度(第25回)で終了するに当たり、「伊藤整文学賞の会」が実施する記念誌の発刊や記念講演会などの記念事業に助成

⑫ 特別展開催経費(美術館) 4,924千円(5,507千円)

I) 開館35周年記念特別展「色彩の饗宴 巨匠たちの絵とパレット」

- ・開催期間:平成26年5月27日～7月21日

II) 「伊藤英二 木のおもちゃ展」

- ・開催期間:平成26年10月18日～12月28日

⑬ 重要文化財旧日本郵船(株)小樽支店保存整備調査費 25,539千円(25,539千円)

- ・重要文化財旧日本郵船(株)小樽支店の保存整備に向けた事前調査を実施
- ・調査期間:平成25年度～平成26年度

## 2. とともに支え合い、安心して健やかに暮らせるまち(市民福祉)

◎① 高齢者保健福祉計画等策定事業費 596千円(685千円)

- ・3年ごとに見直しを行う「小樽市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」について、平成27～29年度を計画期間とする第6期計画を策定

② 地域生活支援事業費(成年後見制度利用支援) 20,928千円(23,940千円)

一般会計2,553千円(3,252千円)、介護保険事業特別会計18,375千円(20,688千円)

- ・平成22年度から小樽市社会福祉協議会が開設した「小樽・北しりべし成年後見センター」への財政支援と低所得者に対する後見人報酬等を助成

◎③ 子育てトレーニング教室開催事業費 210千円(238千円)

- ・怒らず効果的に子どもを養育するためのプログラムである「コモンセンス・ペアレンティング(CSP)」のトレーナー養成と保護者への普及に向けた子育てトレーニング教室を開催

④ 子ども・子育て支援事業計画策定経費 1,472千円(1,586千円)

- ・「子ども・子育て支援法」で策定が義務付けられた「子ども・子育て支援事業計画」(計画期間:平成27～31年度)を策定(平成25年8月「小樽市子ども・子育て会議」を設置)

⑤ 保育所建設事業費 403,785千円(428,470千円)

- ・奥沢保育所 19,732千円(24,600千円)

奥沢保育所(昭和47年建築)の老朽化に伴う改築

平成24年度 基本設計、実施設計、地質調査、測量調査

平成25年度 新園舎工事、外構工事

平成26年度 新園舎供用開始、現園舎解体工事、外構工事

※平成26年4月から「延長保育」と「産休明け保育」を開始

- ・銭函保育所・子育て支援センター 384,053千円(403,870千円)

銭函保育所(昭和43年建築)の老朽化に伴い、子育て支援センターを併設し改築

平成23年度 測量調査

平成25年度 地質調査、基本設計、実施設計

平成26年度 仮設園舎工事、現園舎解体工事、新園舎工事

平成27年度 新園舎供用開始、仮設園舎解体工事、外構工事

- ◎⑥ 新型インフルエンザ等対策事業費 23千円(200千円)
- ・新型インフルエンザ等対策行動計画の策定に当たり重要な柱となる医療体制の整備に関する医療機関調整や会議を実施
- ⑦ 感染症等予防対策費 4,163千円(7,843千円)
- ・感染症に対する検査や予防啓発を行うほか、エボラ出血熱患者等移送のためのアイソレーターと、防護服など防護用品を整備  
(防護服整備分831千円は平成27年度へ繰越)
- ⑧ 旧夜間急病センター解体工事費負担金 8,532千円(8,532千円)
- ・旧済生会小樽病院の解体工事に伴い、旧夜間急病センターに係る工事費用の相当分を負担
- ⑨ 病院統合新築事業 8,476,002千円(8,614,783千円)
- ・小樽病院と脳・循環器・こころの医療センターを統合し小樽市立病院を建設  
平成22年度 基本設計  
平成23年度 実施設計  
平成24年度 旧量徳小学校解体、本体工事  
平成25年度 本体工事  
平成26年度 本体工事、外構工事、小樽市立病院供用開始(平成26年12月1日)、旧小樽病院解体、駐車場整備  
平成27年度 旧小樽病院解体、駐車場整備  
(予算額のうち1,596,885千円は平成25年度から繰越)

### 3. 安全で快適な住みよいまち（生活基盤）

- ① 配水管整備、改良工事、導・送水管整備及び消火栓整備 877,990千円(959,345千円)
- ・配水管整備 424,972千円(425,814千円)

- 市内一円配水管布設 L=5,345m
- ・改良工事（老朽施設等更新改良工事ほか） 392,910千円(468,705千円)  
中区配水池築造工事ほか
  - ・導・送水管整備 58,607千円(62,876千円)  
豊倉送水管等布設工事ほか
  - ・消火栓整備 消火栓1基新設 1,501千円(1,950千円)

- ② 汚水管・雨水管整備及びポンプ場・処理場設備の更新 1,452,887千円(1,538,469千円)
- ・汚水管整備 416,202千円(416,202千円)  
長寿命化対策汚水管改築工事ほか  
(汚水管整備のうち66,128千円(70,000千円)は平成25年度から繰越)
  - ・雨水管整備 14,198千円(21,600千円)  
雨水管新設（熊碓第2排水区雨水渠実施設計委託ほか）
  - ・ポンプ場設備の更新 154,054千円(188,821千円)  
高島汚水中継ポンプ場機械設備更新ほか
  - ・処理場設備の更新 868,433千円(911,846千円)  
中央下水終末処理場本館沈砂池棟・放流ポンプ棟機械設備更新ほか

- ③ 臨時市道整備事業費 402,000千円(405,000千円)
- ・市民生活の安全及び円滑な交通を確保するため、道路改良を実施  
平成26年度整備実施 28路線

- ◎④ 道路ストック点検・修繕更新計画策定事業費 22,604千円(30,200千円)
- ・老朽化が進む道路ストック（道路トンネル、舗装、道路附属物、のり面盛土擁壁等）について点検を行い、修繕計画を策定

- ⑤ 銭函地区河川防災事業費 27,111千円(27,500千円)
- ・大雨等による銭函地区の浸水被害防止のため、緩勾配河川に溜まった土砂を取り除くほか、護岸や側溝を改修し河川の機能回復を図る防災事業を計画的に実施
  - ・対象河川：銭函川、谷地川、旧星置川、ボンナイ川、キライチ川、張碓右1の沢川

- ◎⑥ 住宅マスタープラン策定経費 4,527千円(6,000千円)

・平成17年3月に策定した「住宅マスタープラン」の計画期間が平成26年度で終了するため、官民含めた市内全域の住宅施策を体系的に展開、推進するための指針となる新たな住宅マスタープランを策定（計画期間：平成27～36年度）

⑦ 市営住宅改善事業費 95,308千円(97,032千円)

・「小樽市公共賃貸住宅長寿命化計画」に基づき、老朽化した市営住宅を計画的に改修  
・長寿命化型改善 新光C住宅1,2号棟：屋根・外壁等改修

⑧ ロードヒーティング更新事業費 77,085千円(123,800千円)

・老朽化したロードヒーティング施設を計画的に更新  
・清水第3線 L=85m、船見線 L=59m、桜8号線 L=66m

◎⑨ 建設機械整備費 32,724千円(40,650千円)

・安定的な除雪体制の確保を目的に、除排雪機械を計画的に更新  
・ロータリ除雪車 1台更新

⑩ 旧国鉄手宮線整備事業費 26,163千円(37,800千円)

・平成21年度に策定された旧国鉄手宮線の活用計画に基づき、観光客の回遊性の向上や時間消費型観光の促進のため、中心市街地の新たな観光資源として旧国鉄手宮線を整備  
平成22年度 「旧色内駅ステーション」整備  
平成24年度 旧手宮線用地取得、測量設計  
平成25～27年度 散策路・広場整備（中央通～総合博物館）

◎⑪ （仮称）北海道新幹線新駅周辺まちづくり計画策定事業費 7,326千円(12,157千円)

・天神2丁目に設置される新幹線新駅の周辺整備などの指針となるまちづくり計画を策定（平成26～28年度）

・平成26年度 現状分析及び市民等の意向把握

◎⑫ 北海道新幹線建設費負担金 8千円(394千円)

・全国新幹線鉄道整備法及び同法施行令に基づき新幹線建設費の一部を負担（「負担する範囲（駅部及び都市計画法上の用途地域）」に係る北海道負担分(3分の1)の10分の1を、工事の事業内容に応じて完成までの間負担）

◎⑬ 市有建築物耐震診断経費 25,246千円(49,900千円)

・「建築物の耐震改修の促進に関する法律」の改正に基づき、昭和56年5月31日以前に着工された一定規模以上の市有建築物の耐震診断が義務化となったため実施  
・平成26年度対象施設：本庁舎、市民会館、小中学校、総合体育館  
（小樽駅前第1ビル市所有分3,500千円は平成27年度へ繰越明許）

◎⑭ 民間大規模建築物耐震診断促進経費 8,075千円(44,000千円)

・「建築物の耐震改修の促進に関する法律」の改正に基づき、市へ耐震診断の報告が義務付けられる不特定多数の人が利用する民間大規模建築物所有者に対して、耐震診断費用の2/3を助成

⑮ 住宅リフォーム助成事業費 17,091千円(21,200千円)

・「小樽市住宅リフォーム助成条例」に基づき、住宅リフォームに要する費用の一部を助成し住環境の整備及び市内産業の活性化を促進  
・対象工事 市内建設業者が行う50万円以上の費用を要するリフォーム  
・助成金の額 リフォームに要する費用の1/10で上限額20万円  
（省エネ改修工事費が30万円以上になる場合は上限額30万円）  
※バリアフリー等住宅改造資金貸付金との重複申請はできない

⑯ 防災関係経費 9,740千円(11,262千円)

防災訓練支援事業 196千円(200千円)

各町会等での避難訓練の実施を促進するとともに、地域住民の防災意識と地域の防災力の向上を図るため、津波浸水シミュレーション画像を活用した研修を実施するほか、資料提供などの支援を実施

避難支援事業 3,230千円(3,291千円)

・津波注意喚起標識板の設置

住民、観光客等の迅速で的確な避難を図るため、3年計画で津波浸水想定区域を有する沿岸部に「津波注意喚起標識板」及び「海拔表示板」を設置し、津波避難誘導を実施

平成25年度：「津波注意喚起標識板」を港湾地区16か所に設置

平成26年度：「津波注意喚起標識板」を蘭島～銭函地区（港湾地区除く）16か所に設置

「海拔表示板」を蘭島～港湾地区の一部75か所に設置

・防災ラジオの配布

迅速な避難行動を図るため、緊急地震速報や津波警報等を自動受信する防災ラジオを保育所、町会、自治会などに配布

平成25年度：町会 151台、自治会 20台、市立保育所 6台 計177台

平成26年度：私立保育所、幼稚園、放課後児童クラブ、児童館等 計65台

・津波ハザードマップの増刷

避難所機能強化事業 6,314千円(7,771千円)

災害発生時の避難所（69か所）受入体制強化のため、計画的に非常用食糧や防寒対策用品等を配備

平成24年度から、防寒対策用品等は6か年、避難所標識の新設及び更新は5か年で整備

⑰ 福祉避難所機能確保促進事業費 1,507千円(1,539千円)

・身体等の状況により一般的な避難所では支障を来す高齢者や障がい者などのた

めの「福祉避難所」（平成25年度に市内社会福祉施設9か所と協定締結）の機能確保のほか、福祉避難所へ移送するまでの間や収容できない場合に、一次的避難所（小中学校）で介護や医療相談等を受けることができる空間を確保するための災害用間仕切りを整備

平成25年度 250セット整備（福祉避難所）

平成26年度 150セット整備（小中学校）

⑱ 原子力防災関係事業費 2,034千円(2,250千円)

・原子力防災活動に必要な資機材等を整備

連絡通信機器の整備（衛星携帯電話、防災行政デジタル(MC A)無線、小電力トランシーバー）

防災資機材、避難施設備蓄品の整備（サーベイメーター（放射線量率測定器）の点検校正、避難所用毛布整備ほか）

⑲ 機動力増強・近代化事業費 30,913千円(32,000千円)

・災害対応特殊消防ポンプ自動車を更新整備

◎⑳ 救急業務高度化推進事業費 30,805千円(32,000千円)

・消防署手宮出張所の高規格救急自動車を更新整備

◎㉑ （仮称）消防署オタモイ出張所建設事業費 24,238千円(25,800千円)

・「小樽市消防長期構想」に基づき、消防署長橋出張所と塩谷出張所を統合した新庁舎を建設

平成26年度 旧学校給食オタモイ共同調理場跡地（国有地）の購入、既存建物の解体工事、基本設計

平成27年度 実施設計、地質調査

平成28年度 新庁舎建設工事

平成29年度 供用開始

- ② 消防救急無線デジタル化事業費 295,753千円(295,753千円)
- 平成28年5月末の消防救急無線のデジタル化移行に対応するため、デジタル無線施設を整備
    - 平成24年度 基本設計
    - 平成25年度 実施設計
    - 平成26年度 システム整備（赤岩基地局局舎・鉄塔の建設ほか）
    - 平成27年度 システム整備（赤岩、銭函、消防本部基地局無線装置の整備ほか）、デジタル無線運用開始
    - 平成28年度 アナログ無線施設撤去  
(事業費のうち、78,058千円(78,058千円)は平成25年度から繰越)

平成26年度 防波堤等新設工事  
 ※平成26年度総事業費70,000千円(うち市負担 8/100=5,600千円)

#### 4. 人・もの・情報が交流する活力あるにぎわいのまち（産業振興）

- ① 道直轄工事費負担金 9,792千円(10,050千円)
- 塩谷地区水産環境整備事業 4,192千円(4,450千円)
    - 塩谷地区(文庫歌)の水質保全及び良質な漁場環境への改善を図るため、海岸土砂崩落防止工事を実施(平成23～26年度)
      - 平成24年度まで 測量・設計、法切工(4,534m<sup>3</sup>)・排土工(4,852m<sup>3</sup>)
      - 平成25年度 法切工(2,365m<sup>3</sup>)、排土工(1,537m<sup>3</sup>)、測量
      - 平成26年度 伏工(植生マット、張芝)、水路工、暗渠工ほか
      - ※平成26年度総事業費41,923千円(うち市負担 10/100=4,192千円)
  - 忍路漁港整備事業 5,600千円(5,600千円)
    - 係船用の岸壁及び用地不足を解消するため、西防波堤・西護岸・船揚場等の整備を実施(平成23～26年度)
      - 平成24年度まで 測量・設計、西護岸(10.0m)、物揚場(35.7m)ほか
      - 平成25年度 西防波堤(10.0m)、西護岸(51.2m)、船揚場(20.0m)、しゅんせつ(660m<sup>2</sup>)ほか

- ◎② 水産物ブランド化推進事業費 1,045千円(1,100千円)
- 小樽の水産物のブランド化や消費拡大を図るため、水産加工グランプリの開催やその受賞商品をPRするほか、水産加工品のデータベースを作成
- ③ 東アジア等販路拡大支援事業費 575千円(2,820千円)
- 通関等の費用補助  
東アジア等へ新たな商品を輸出する際の、輸出手続等に要する費用を補助
  - 商談会、展示会等の費用補助  
東アジア等への販路拡大を目的とした商談会・展示会等への参加に要する費用を補助
- ◎④ 海外バイヤー招へい連携事業費 368千円(450千円)
- 海外への販路拡大のため、札幌市やJETRO北海道との共催により、海外バイヤーとの商談会や製造工場見学会を開催し、経費や時間の制約などから海外での商談会等へ参加できない市内企業への商談機会を創出
- ⑤ 小樽ブランド力推進事業費 6,993千円(6,993千円)
- ブランド力の向上を図るため、顧客ニーズや市場動向等の情報収集を行い、顧客目線を重視した既存商品の磨き直しや新商品開発のコーディネートを継続的な販路確保とともに実施
- ⑥ 活力ある商店街づくり推進事業費 7,403千円(9,510千円)
- にぎわう商店街づくり支援事業費 2,995千円(4,540千円)
    - 小樽市商店街振興組合連合会に属する商店街等が、中心市街地活性化に寄与するために独自に企画・実施する活性化事業に助成  
助成額：事業費の1/2(限度額600千円)
  - 商店街活性化支援事業費 1,748千円(2,000千円)

活力ある商店街の形成を図るために商店街を活性化する事業を実施する団体へ助成

助成額：事業費の1/2

事業費1,000千円未満(限度額100千円)、事業費1,000千円以上(限度額200千円)

- ・空き店舗対策支援事業費 2,660千円(2,970千円)  
商業起業者及び既存事業者の経営安定化と空き店舗解消を目的に店舗家賃等の一部を助成

助成額：①起業者 研修費用の2/3(限度額30千円)  
家賃の2/3(限度額50千円)×12か月  
②既存事業者 家賃の1/2(限度額50千円)×6か月

- ⑦ 地場産品導入促進事業費 2,102千円(2,102千円)  
・地域資源であるガラスを小樽市の産業として認知し、土産品としてのイメージからの脱却を図ることを目的として、幼少のころから親しんでもらうために、小学生の卒業記念として吹きガラス製法によるガラス製作体験を行う費用を実行委員会に補助

- ⑧ 「小樽産品」販路拡大支援事業費 3,513千円(3,800千円)  
・市内企業の販路拡大支援のため、道外の大規模展示商談会へ出展するほか、小樽単独物産展の新規開催などを支援

- ◎⑨ 企業立地トップセミナーフォローアップ事業費 766千円(784千円)  
・平成24年度(東京)、平成25年度(大阪)に開催した「企業立地トップセミナー」の参加企業などに対するフォローアップのため、市長などによる企業訪問を実施

- ☆⑩ 観光誘致促進事業費補助金 3,300千円(3,300千円)  
・観光協会が行う冬季イベントの実施や、ナイトマップやクーポンの作成、クルーズ客船寄港時の物産展開催などに対して補助

- ◎⑪ 宿泊客誘致事業費補助金 1,910千円(2,000千円)  
・企業の福利厚生会報誌等に本市観光の紹介や市内宿泊施設の広告を掲載し、観光閑散期(11～2月)の宿泊客増加を図るための誘客キャンペーンを実施

- ⑫ 国内外観光客誘致実行委員会補助金 3,000千円(3,000千円)  
・香港から旅行代理店担当者やメディア関係者を招へいする事業のほか、関西の旅行代理店等に対する観光説明会の開催、札幌での誘客キャンペーンなどの観光プロモーションを実施する実行委員会に対し補助

- ⑬ 小樽国際インフォメーションセンター運営費交付金 10,355千円(10,355千円)  
・運河プラザにおいて、外国語対応が可能な観光案内の総合窓口を開設

- ⑭ 東アジア圏等観光客誘致広域連携事業費補助金 1,200千円(1,200千円)  
・札幌市などと連携し、アジア圏をはじめとした外国人観光客とMICE誘致に向けたMICEサミットへの参画やメディア招へいなどを実施

- ⑮ 小樽Kawaiiティーパーティー実行委員会補助金 500千円(500千円)  
・本市観光の新たな魅力づくりを図るため、女性層をターゲットに、国内のみならず欧米にも広がる「Kawaii(カワイイ)」をキーワードとしたイベントを開催

- ⑯ 国直轄工事費負担金 39,509千円(78,500千円)  
北防波堤改良事業費 19,509千円(58,500千円)

- ・老朽化した防波堤の改良による施設の延命化  
平成24年度まで 調査・設計、漁業補償、根固工(L=452m/港外)、  
被覆工(L=32m/港外、L=586m/港内)  
平成25年度 根固工(L=98.9m/港外)  
平成26年度 根固工(L=16.1m/港外)、被覆工(L=89.1m/港内)  
※国直轄事業 平成26年度全体工事費 125,000千円

(うち市負担 1.5/10=18,750千円、前年度清算追徴金759千円)

- ◎第3号ふ頭岸壁改良事業費 20,000千円(20,000千円)
- ・第3号ふ頭及び周辺再開発事業の一環として老朽化が進んでいる16番岸壁を改良
  - ・平成26年度 調査・設計費
- ※国直轄事業 平成26年度全体事業費 60,000千円(うち市負担 1/3=20,000千円)
- ⑰ 第3号ふ頭岸壁改良事業費 45,139千円(54,400千円)
- ・老朽化したエプロン舗装の改良による施設の延命化及びクルーズ客船に対応するための係船柱などの改良による機能強化(平成22~26年度)
  - ・平成26年度 13~15番岸壁 係船柱2基、防舷材8基、エプロン舗装 A=784㎡ほか
- ⑱ 港内泊地しゅんせつ事業費 25,358千円(26,336千円)
- ・土砂などの堆積により浅くなった岸壁前面の泊地の必要な水深確保のためのしゅんせつ
  - ・平成26年度 勝納ふ頭2・3番岸壁 埋没対策工 L=370m、堀削量 V=2,240㎡
- ◎⑲ 小樽港保安施設改良事業費 16,405千円(27,400千円)
- ・勝納ふ頭における大型クルーズ客船係留時の車両や歩行者の安全性確保及び港町ふ頭における定期RORO船等の警備体制強化のため保安施設を改良
  - ・勝納ふ頭2番岸壁(大型クルーズ客船対応) 車両・歩行者用ゲート、歩行者扉フェンス
  - ・港町ふ頭1番岸壁(ロシア船対応) ソーラスゲート、フェンス等設置
- ⑳ 環日本海クルーズ推進事業費 1,511千円(1,820千円)
- ・国土交通省から日本海側拠点港に選定された小樽港、伏木富山港、京都舞鶴港、境港のほか、秋田県の3港(秋田港・船川港・能代港)が連携してクルーズ客船の誘致活動や情報収集等を実施

- ㉑ 小樽港クルーズ推進事業費 12,447千円(13,718千円)
- ・小樽港へのクルーズ客船の更なる寄港促進を図るために設置した、市や民間団体等からなる小樽港クルーズ推進協議会による誘致活動や、寄港数の増に対応するための受入体制を強化
- ㉒ 港湾計画改訂事業費 4,784千円(5,000千円)
- ・港湾計画の改訂に必要な計画等の作成(平成24年度から実施)  
平成26年度 若竹地区貯木場水面の有効活用及びマリーナⅡ期計画の見直しについて検討
- ㉓ 高校生就職スキルアップ支援事業費 1,836千円(1,836千円)
- ・主に高校1・2年生を対象に、市内企業への就職率向上を図るため、就職活動の実践力向上事業を実施
- ㉔ 雇用創出・対策事業 72,778千円(98,126千円)
- ・観光型商店街活性化モデル事業費 10,501千円(10,501千円)  
空き店舗を活用した「商店街・観光案内所」の設置や、観光型ホームページの構築、道内外に向けたPR活動などを行い、商店街活性化のモデルづくりを委託により実施(平成25~26年度)
  - ・小樽の街並み・景色を観光資源とした観光促進事業費 11,721千円(12,258千円)  
現在所有している本市の観光画像データを刷新し、利用者ニーズに対応したデータベースを構築するほか、「小樽撮影ガイドブック」の作成などを委託により実施(平成25~26年度)
  - ・新卒未就職者等及び女性離職者の再チャレンジ支援事業費 29,732千円(30,000千円)  
卒業後3年以内の未就職者(早期離職者を含む)等及び、結婚や出産に伴う女性離職者を地元に着定させるため、講習や研修による座学や市内企業等での実習を行うことで、企業から求められる人材を育成



- ・酒類の海外販路拡大に向けた人材育成事業費 5,148千円(6,000千円)  
海外への販路拡大を図る地域企業への就業に結びつけるために、海外商談に必要な知識・技術を各種研修等を通じて習得
- ・介護人材確保支援事業費 8,312千円(31,730千円)  
未就職者や、結婚・出産による離職から再就職を希望する女性求職者等の失業者に対して、介護施設で就職するための必要な知識・技術を習得
- ・障害者相談支援事業所サポート事業費 4,000千円(4,000千円)  
障害者相談支援事業所での相談業務を担う人材を確保するため、若年失業者に対して、各種研修や実践により障害福祉に係る人材を育成
- ・海水浴場・観光イベント等クリーンアップ事業費 1,987千円(1,987千円)  
市内8海水浴場等と観光イベント「おたる潮まつり」会場を巡回しながら、散乱ごみの収集・集積を委託により実施
- ・市内一円砂箱補充事業費 994千円(1,000千円)  
市民との協働による急坂路線を中心とした凍結路面对策を充実するため、市内一円に設置している砂箱への砂小袋補充を委託により実施
- ・於古発川店舗落雪対策事業費 383千円(650千円)  
於古発川店舗(妙見市場)の屋根からの落雪による事故や側道の通行阻害を防止するため、屋根の雪降ろし及び側道の除排雪を委託により実施

- ② 姉妹都市提携委員会交付金 3,376千円(4,220千円)  
・姉妹都市であるロシア・ナホトカ市、ニュージーランド・ダニーデン市及び韓国・ソウル特別市江西区との交流事業を実施  
・平成26年度 ダニーデン市へ少年少女使節団を派遣

## 5. 自然とまちなみが調和し、環境にやさしいまち（環境保全）

- ① 環境基本計画策定事業費 1,778千円(2,000千円)  
・平成22年6月制定の「小樽市環境基本条例」の基本理念実現に向けた環境施策の

具体化を図るため環境基本計画を策定(平成24～27年度)

- 平成24年度 基礎調査
- 平成25年度 基礎調査、市民アンケート、計画(素案)の検討
- 平成26年度 計画(案)を環境審議会へ諮問・答申、計画決定
- 平成27年度 計画の施行、公表

- ◎② 一般廃棄物処理基本計画策定事業費 929千円(1,136千円)  
・平成16年度に策定した本計画が平成26年度で終了することから、平成27～36年度を計画期間とする次期計画を策定するため、ごみの性状調査を委託により実施
- ③ 北しりべし廃棄物処理広域連合負担金 1,225,365千円(1,225,365千円)  
・北しりべし廃棄物処理広域連合(小樽市、積丹町、古平町、余市町、仁木町、赤井川村)によるごみ焼却施設及びリサイクルプラザの運営に要する経費
- ④ 小樽公園再整備事業費 55,846千円(96,600千円)  
・明治26年開園の小樽公園を再整備  
平成25年度 工事測量及び実施設計  
平成26年度 日本庭園及び炎の塔広場の整備、公園維持管理事務所の更新
- ⑤ 都市公園安全・安心事業費 24,145千円(48,300千円)  
・老朽化した公園施設の更新やバリアフリー化を進め、公園利用者の安全・安心を確保  
平成26年度 遊具の更新(銭函公園ほか1公園)、トイレのバリアフリー化(手宮公園緑の相談所)

☆⑥ 歴史的建造物保全及び景観地区内建造物修景等事業費助成金

- 5,020千円(10,000千円)  
・景観条例に基づき登録している歴史的建造物のうち、民間が所有する建造物の

外観に係る補修費の一部を助成し、歴史的建造物の保全を推進  
助成額：歴史的建造物の外観保全に必要な経費の1/3以内  
限度額：指定歴史的建造物600万円、登録歴史的建造物300万円

・平成26年度：真栄会館

## B【その他の施策】

☆① おたる市議会だより発行経費 4,451千円(4,500千円)

・年4回発行している市議会広報誌の5月発行分のページ数を増やし、市議会の活動状況などの情報発信を充実

◎② 自治基本条例推進等事業費 439千円(700千円)

・平成26年4月から施行した「小樽市自治基本条例」について、市民参加と協働によりまちづくりを進めるため、内容を理解しやすいリーフレットを作成したほか、セミナーを開催

◎③ PCB廃棄物処理関係経費 27,823千円(110,603千円)

・市施設で保管している安定器等のPCB（ポリ塩化ビフェニル）汚染物について、「北海道ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理基本計画」に基づき、処理機関である日本環境安全事業(株)北海道事業所へ搬入し処理

④ 戸籍事務電算化事業費 25,404千円(26,018千円)

・紙で管理している戸籍をデータ化してコンピュータで管理することにより、戸籍届出処理や証明書発行の適正化・迅速化及び災害発生時の危機管理体制を整備  
・平成24年度 契約、戸籍データ化作業開始  
・平成25年度 戸籍データ化作業  
・平成26年度 システム稼働

⑤ 町内会館等建設助成金 9,000千円(9,000千円)

・町内会等が町内会館等を建設（新築、増築、改築、補修、取得）する場合に、当該町内会等に対して助成金を交付

◎⑥ 地籍調査事業費 1,129千円(1,206千円)

・平成26年度から市内中心部10区域において官民境界等先行調査（道路、河川等と民地の境界調査）を実施（実施予定期間：平成26年度～37年度）  
・平成26年度実施区域：住吉町

◎⑦ 観光物産プラザ屋根改修事業費 73,991千円(74,000千円)

総合博物館運河館屋根改修事業費 56,603千円(57,500千円)

・老朽化が著しい観光物産プラザ及び併設する総合博物館運河館の屋根瓦を、積雪寒冷地用の新工法により下地も含めて全面的に葺き替え

⑧ 衆議院議員選挙及び最高裁判所裁判官国民審査費 39,073千円(47,000千円)

⑨ 知事及び道議会議員選挙準備費 15,387千円(15,511千円)

⑩ 市長及び市議会議員選挙準備費 14,805千円(16,369千円)

⑪ 農業委員会選挙費 178千円(1,305千円)

・無投票であったため、必要最低限の経費のみ支出

⑫ 臨時福祉給付金給付事業費 337,976千円(447,036千円)

・消費税率引上げに対する低所得者への措置  
・対象者：平成26年度市民税が課税されていない方（市民税が課税されている方の扶養親族等及び生活保護被保護者等を除く）  
・支給額：対象者1人につき1万円（老齢基礎年金、児童扶養手当等受給者等は5千円加算）

⑬ 子育て世帯臨時特例給付金給付事業費 98,273千円(114,654千円)

・消費税率引上げに対する子育て世帯への措置

- ・対象者：平成26年1月分の児童手当を受給している方で、平成25年の所得が児童手当の所得制限額に満たない方（臨時福祉給付金支給対象者及び生活保護被保護者等を除く）
  - ・支給額：対象児童1人につき1万円
- 29,732千円(30,000千円)
- ・酒類の海外販路拡大に向けた人材育成事業費<再掲> 5,148千円(6,000千円)  
(うち補助金充当4,243千円)
  - ・介護人材確保支援事業費<再掲> 8,312千円(31,730千円)
  - ・障害者相談支援事業所サポート事業費<再掲> 4,000千円(4,000千円)
- ①⑭ 社会保障・税番号制度システム整備事業費 29,785千円(38,795千円)
- ・社会保障・税番号制度(マイナンバー制度)の導入に対応するためのシステムを整備
- ⑮ 市独自の雇用対策 3,364千円(3,637千円)
- 厳しい雇用情勢にかんがみ、市独自の雇用対策事業を以下のとおり実施
- ・海水浴場・観光イベント等クリーンアップ事業費<再掲> 1,987千円(1,987千円)
  - ・市内一円砂箱補充事業費<再掲> 994千円(1,000千円)
  - ・於古登川店舗落雪対策事業費<再掲> 383千円(650千円)
- ⑯ 緊急雇用創出推進事業 69,414千円(94,489千円)
- 起業支援型地域雇用創造事業 22,222千円(22,759千円)
- 地域ニーズに応じた人材育成を行うとともに地域の産業・雇用振興策に沿って、起業後10年以内の企業等を委託先とし、地域に根ざした雇用の創出を図るため、北海道緊急雇用創出事業臨時特例基金を活用し実施
- ・観光型商店街活性化モデル事業費<再掲> 10,501千円(10,501千円)
  - ・小樽の街並み・景色を観光資源とした観光促進事業費<再掲> 11,721千円(12,258千円)
- 地域人づくり事業 47,192千円(71,730千円)
- 地域の実情に応じた多様な「人づくり」により、若者や女性等の潜在力を引き出し雇用の拡大を図る事業を、北海道緊急雇用創出事業臨時特例基金を活用し実施
- ・新卒未就職者等及び女性離職者の再チャレンジ支援事業費<再掲>
- ⑰ 地域経済活性化等推進資金基金活用事業 14,030千円(17,609千円)
- ・平成21年度の地方交付税において、新たに「地域雇用創出推進費」が創設され、本市に交付された279,000千円のうち、261,000千円を基金に積み立て、地域の雇用維持・創出及び地域経済の活性化に資する事業に活用することとし、平成26年度は以下の事業を実施
  - ・高校生就職スキルアップ支援事業費<再掲> 1,836千円(1,836千円)  
(うち基金充当額 926千円)
  - ・東アジア等販路拡大支援事業費<再掲> 575千円(2,820千円)
  - ・小樽ブランド力推進事業費<再掲> 6,993千円(6,993千円)  
(うち基金充当額5,693千円)
  - ・にぎわう商店街づくり支援事業費<再掲> 2,995千円(4,540千円)  
(うち基金充当額2,950千円)
  - ・地場産品導入促進事業費<再掲> 2,102千円(2,102千円)  
(うち基金充当額1,102千円)
  - ・海外バイヤー招へい連携事業費<再掲> 368千円(450千円)
  - ・環日本海クルーズ推進事業費<再掲> 1,511千円(1,820千円)
  - ・酒類の海外販路拡大に向けた人材育成事業費<再掲> 5,148千円(6,000千円)  
(うち基金充当額905千円)
- ⑱ 地域の元気臨時資金基金関連 357,157千円[357,157千円]
- 【金額は基金充当額、括弧内[]の金額は事業費】
- ・平成25年度に国から交付された「地域の元気臨時交付金」のうち一部を地域の元気臨時資金基金積立金に積み立て、平成26年度に全額を以下の事業に活用

・教育委員会庁舎駐車場整備事業費	19,440千円[19,440千円]
・身体障害者福祉センター改修事業費	8,179千円[8,179千円]
・保育所建設事業費(銭函保育所・子育て支援センター)	227,912千円[384,053千円]
・大気汚染常時監視テレメータシステム整備事業費	7,452千円[7,452千円]
・理化学検査機器整備事業費	4,169千円[5,897千円]
・「おたる自然の村」マイクロバス購入費	4,529千円[4,550千円]
・(仮称)消防署オタモイ出張所建設事業費	22,597千円[24,238千円]
・校舎等改築事業費(手宮地区統合小学校)	62,879千円[871,901千円]

## C【国の経済対策関連事業】

### ① 国の補正予算関連

□「好循環実現のための経済対策」(平成25年12月5日閣議決定)を実施するため、国の平成25年度補正予算(第1号)で措置された「がんばる地域交付金(地域活性化・効果実感臨時交付金)」が交付され、以下の事業に活用

【金額は交付金充当額、括弧内[]の金額は事業費】

・旧夜間急病センター解体工事費負担金(債務負担分)	8,399千円[8,532千円]
---------------------------	------------------

□「地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策」(平成26年12月27日閣議決定)に位置づけられた具体的施策実行のため、国の補正予算で措置された「地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金」について、以下の事業に活用

・地域消費喚起・生活支援型	－千円(331,000千円)
・プレミアム商品券事業費	－千円(260,000千円)
・子育て世帯生活支援事業費	－千円(71,000千円)
・地方創生先行型	－千円(188,330千円)
・定住自立圏構想推進経費	－千円(1,400千円)

・移住促進事業経費	－千円(1,000千円)
・空家実態調査事業費	－千円(8,000千円)
・総合戦略策定関係経費	－千円(10,000千円)
・移動式赤ちゃんの駅事業費	－千円(1,000千円)
・私立保育所保育環境改善事業費補助金	－千円(3,400千円)
・保育環境改善事業費	－千円(3,000千円)
・高校生就職スキルアップ支援事業費	－千円(1,850千円)
・女性・若年者の地元定着を目指した人材育成事業費	－千円(26,700千円)
・「小樽産品」販路拡大支援事業費	－千円(2,500千円)
・商業起業家定住促進事業費	－千円(3,000千円)
・地場産品導入促進事業費	－千円(2,200千円)
・技術開発促進事業費	－千円(500千円)
・ものづくり市場開拓支援事業費	－千円(660千円)
・企業立地トップセミナーフォローアップ事業費	－千円(750千円)
・企業誘致促進事業費	－千円(1,000千円)
・設備投資動向調査事業費	－千円(3,570千円)
・札幌臨海小樽・石狩地域産業活性化協議会負担金	－千円(750千円)
・海外販路拡大支援事業費	－千円(2,000千円)
・小樽産品商品力・販売力向上事業費	－千円(8,500千円)
・小樽がらす市実行委員会補助金	－千円(700千円)
・宣伝物製作等経費	－千円(3,300千円)
・宿泊客誘致事業費補助金	－千円(2,000千円)
・国内外観光客誘致実行委員会補助金	－千円(3,000千円)
・観光広告プロモーション事業費補助金	－千円(2,000千円)
・観光案内所運営費交付金	－千円(8,800千円)
・移動式Wi-Fi環境整備事業費	－千円(750千円)
・外国語通訳配置支援事業費補助金	－千円(2,800千円)
・小樽国際インフォメーションセンター運営費交付金	－千円(10,800千円)

・観光ポスター等制作事業費	－千円(3,000千円)
・東アジア圏等観光客誘致広域連携事業費補助金	－千円(3,000千円)
・小樽k a w a i i ティーパーティー実行委員会補助金	－千円(500千円)
・小樽ショートフィルムセッション開催補助金	－千円(1,300千円)
・小樽あんかけ焼きそば親衛隊観光PR補助金	－千円(2,000千円)
・歴史的建造物保全及び景観地区内建造物修景等事業費助成金	－千円(15,000千円)
・小樽港物流促進プロジェクト事業費	－千円(1,000千円)
・「樽っ子学校サポート」関係経費	－千円(170千円)
・音読推進経費	－千円(330千円)
・幼稚園保育環境改善事業費補助金	－千円(2,400千円)
・デジタル機器整備事業費	－千円(40,000千円)
・図書等資料整備事業費	－千円(2,700千円)
・スクール・ライブラリー便事業費	－千円(1,000千円)

(全額を平成27年度に繰越)